

W^{NPO}ith NewsLetter

441-3613 田原市古田町岡ノ越 6・4 田原市渥美支所 TEL(0531-36-6882) FAX(0531-36-4694)

2015 トライアスロン伊良湖大会

悪天候の中開催

第 29 回トライアスロン伊良湖大会は、悪天候の中、9 月 6 日（日）に開催された。あまりにも風雨が強く、選手・観客・ボランティアの安全面を考慮し、大会本部としては苦渋の選択で、午後 2 時 5 分、2 9 回目にして初めて途中中止とした。

選手限定の開会式、今回は観客に開放

前夜祭の会場は「伊良湖緑地公園」。今回より参加選手に限定した開会式を、前夜祭に来られている一般の方にも開放し、選手・一般の方も楽しめる開会式・前夜祭とした。

開会式は、緑地公園メインステージにて、福江高校音楽部による歓迎演奏の後、山本実行委員長、山下田原市長、根本衆議院議員、佐原田原警察署長の挨拶に次いで、荒木春音君（福江高校）と北御門裕太君（渥美農高）の選手宣誓があり、次いで大会の無事と成功を祈り田原市花井教育長がヤクルトにて乾杯。開会式は無事終了した。

前夜祭、今回も渥美青年経済研究会が運営

昨年同様、渥美青年経済研究会が主催者となり、大会の盛り上げに一翼を担った。今年度も昨年同様田原市の小学校に協力を呼びかけ、小学生約 1 7 0 0 人により、選手に対するメッセージ付き「ペーパーランタン」を作成。会場に飾り付け、前夜祭にふさわしい雰囲気を彩った。

主な行事は、子供ダンス【MAZ E】、子供・選手向けゲーム、抽選券発表、アイドルグループ【ROL I ANGEL】、コラボレーション出演、琴【渥美リラの会】・観音太鼓・ファイアーダンス【火魔陣】、花火大会、フィナーレ

天候にも恵まれ多くの方に来場頂き成功裏に終了した。



ペーパーランタン



福江高校生音楽部による歓迎演奏。曲目は「トライアスロン伊良湖賛歌・その瞬間君は」「ライジング、サン」の2曲。



選手宣誓をする、荒木春音君（福江高校）と北御門裕太君（渥美農高）



ヤクルトで乾杯

NPO 法人 (ウイズ)

加 入 申 込 書

平成 年 月 日

NPO法人With 御中

特定非営利活動法人渥美半島まちづくり推進機構の趣旨に賛同し以下のとおり申し込みます。

会員区分 (何れかに○印)	正 会 員	個人 ・ 企業団体
	賛助会員	個人 ・ 企業団体 会費() 口

個人

ふりがな 氏 名		TEL	
		e-mail	
個人住所			

企業・団体

ふりがな 企業団体名		ふりがな 代表者名	
住所			
連絡先	TEL		e-mail

◇会費について

会員区分		加入金	年会費
正会員	個 人	1,000円	5,000円
	企業団体	1,000円	30,000円
賛助会員	個 人	1,000円	1口 2,000円
	企業団体	1,000円	1口 10,000円

キリトリ

<目的>

この法人は、広く地域社会の住民や企業、団体が連携して、田原市のまちづくりに取り組む中核的な組織として、魅力ある地域の形成を図ることで、地場産業を盛り上げ、また、各種情報発信を行うことで、田原市の将来の発展に寄与することを目的とする。

<主な事業>

- ①まちづくりの推進を図る活動
- ②観光の振興を図る活動
- ③学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- ④経済活動の活性化を図る活動
- ⑤職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- ⑥前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

役員名簿 27年～29年

役職名	氏 名
理 事 長	渡 会 一 昭
副理事長	石 倉 一 造
専務理事	榊 原 宣 克
理 事	川 口 敏 郎
同	間 瀬 祐 一
同	青 山 房 生
同	河 合 光 志
同	清 田 行 雄
同	彦 坂 育 甫
同	小 川 雅 魚
同	渡 辺 長 一
同	大 岩 宗 司
同	川 崎 政 夫
監 事	森 川 敬 一

〒441-3613 田原市古田町岡ノ越 6・4 田原市渥美支所内
TEL(0531)36-6882 FAX(0531)36-4694
E-mail npo-with@tees.jp URL http://www.npo-with.jp

菜の花まつり開催 With も参画

NPO 法人 With は今年度も菜の花まつりイベントのお手伝いをする。主に菜の花ガーデンの整備とインフォメーション事業に参加。インフォメーション事業は、福江高校の生徒さんに2名1組でボランティアとして運営してもらう。2月から3月末までの土・日・祝日の18日間担当。

会場整備は既に着手。「なっち」の丘（芝滑りの丘）のスロープの延長工事、雨の日のぬかるみを解消するため、会場内の散策路に竹チップの散布工事を行う。また、今年度は、トイレ・テント・出店等の配置の見直しを図り、お客様に喜んで頂ける会場づくりとする。



昨年の説明会

福江高校の了解を頂き、今年度もインフォメーションスタッフは福江高校生を予定。既に申し込みの受付は進んでいる。

ボランティアスタッフ（高校生含む）の説明会は1月30日（土）午後1時30分、福江市民館にて行う。



トライアスロン主な業務内容

- (1)選手対応業務
- (2)大会運営業務
- (3)大会会場設営業務
- (4)前夜祭業務
- (5)広告宣伝業務
- (6)マーシャル・計測業務
- (7)次年度大会準備
- (8)その他（協賛企業募集他）

写真で見る主な準備



駐車場ライン引き



駐車場草刈り



駐車場草刈り



コーススロープ準備



パイラックナンバーソール



パイラックナンバーソール

悪天候の中限界に挑む

今回で29回目を迎えるトライアスロン伊良湖大会は、雨が降る悪条件の中、897人が限界に挑んだ。

スタート直前、雷の心配と豪雨のためスイムスタートは30分遅れとなり、選手の安全を考慮し、Aタイプは距離を短縮しBタイプと同距離とした。

スイム・バイク・ランと競技が進むにつれ風雨がどんどんと強まり、時折強い突風が吹き荒れる最悪の条件となった。しかし、大会途中中止を知ってか知らずか、それにも拘わらず最後まで走り抜いた選手もいた。

選手の中には「こんな大会は初めて、坂から雨水が滝のように流れる中、興奮しながら走った。良い経験をしました。」と一見うれしそうな表情で語っていた。

幸い大きなけが人も無く大会は終了した。



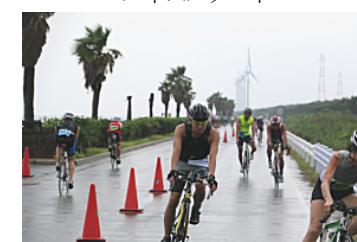
スイムスタート直前



スイムスタート



豪雨の中力走



バイク



悪天候の中、スイムゴール



豪雨の中真剣に応援する観客



土砂降りの中、家族と一緒にゴール



ビクトリーブーケ選手から家族へ

ずぶ濡れになりながら最後まで応援 福江高校

大会は暴風雨で途中中止となったが、途中中止にもかかわらず競技を続行している選手に、ずぶ濡れになりながらも最後まで声援を送っている姿が光った。生徒らはエイドステーション他各所で声援を送り、選手に力強さを与えた。選手の中には「土砂降りの中応援してくれてありがとう」と感動した顔で語っていた。



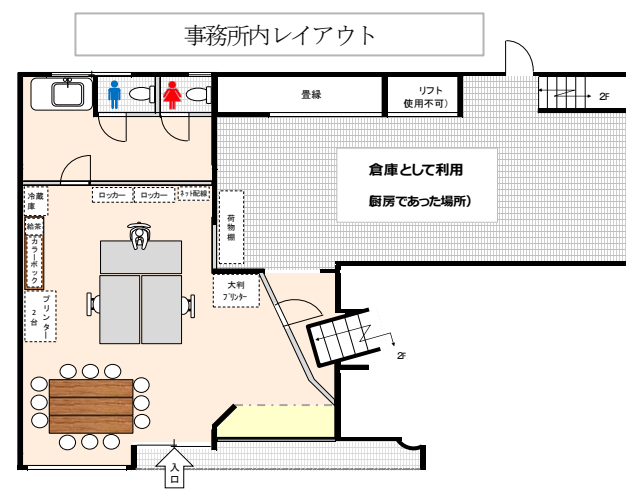
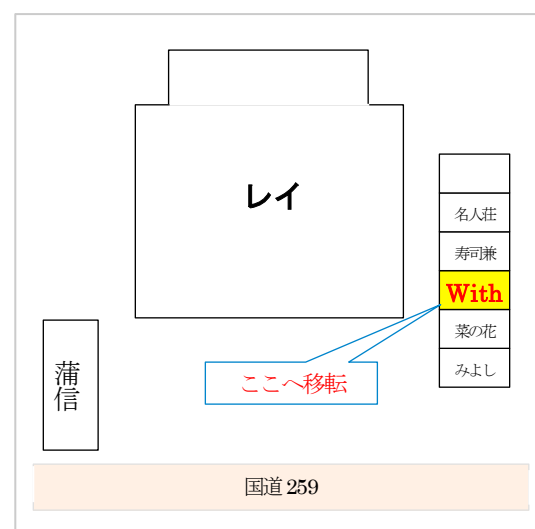
2016 トライアスロン伊良湖大会 30 回記念大会

平成28年度は30回目にあたり、トライアスロン実行委員会とは別に「小委員会」を立ち上げ、記念大会にふさわしい2016トライアスロン伊良湖大会を検討する。開催日程は、開会式・前夜祭9月10日（土）・本大会11日（日）を予定している。

With の事務所が移転します

田原市は、以前から懸案でありました田原市渥美支所の有効活用について、田原市と愛知みなみ農協と協議の結果、その思惑が一致し、平成27年度末日（28.3.31）をもって、1階の一部、2・3・4階部分を愛知みなみ農協へ賃貸することに決定しました。それに伴い、商工会、土地改良、With も移転することになり、それぞれが移転の準備を進めております。（渥美支所機能と三菱東京UFJ銀行はそのまま存続します。）

With の移転場所は、ショッピングセンターレイ食堂街の「旧店舗 みのや」です。既に内装の解体工事は終了し、2月末日までに事務所として完成する予定です。また、引っ越しは3月中に行う予定です。



トライアスロン伊良湖大会を支える With のメンバー

With が受託してから今年で3回目。トライアスロンの準備は、3月から始まり大会直前まで準備に奔走。昨年度参加者への案内書の発送を皮切りに、協賛企業の募集、参加申し込みの受付・1次～4次抽選、抽選後の参加確認、大会グッズの発案と製作、大会誌作成、スイム・バイク・ランのコース設定と会場整備、看板作成と設置確認、駐車場整備等業務は多彩。

2015 トライアスロン伊良湖大会の総予算は4370万。これにはWith が募集する協賛金も含まれている。田原市の支援を受けながらほとんどの運営はWith が行う。この運営にはWith メンバーのボランティア精神が欠かせない。田原市の活性化を目的としたWith の事業の中で、最もボリュームのある事業である。

写真で見る主な準備



駐車場整備



各所へ横断幕取付



コーススロープ



サメ網積み込み